

# VI形SVR

Vacuum Interrupter Type Step Voltage Regulator

SVR (高圧自動電圧調整器)は、配電線に直列に接続される重要な機器である。そのため、機器の信頼性確保の観点から、定期的な吊上点検が実施され、事故を未然に防ぐと共に、良好な運転の維持と延命化が図られている。

この定期点検が必要とされる主要因として、絶縁油の汚損があげられる。

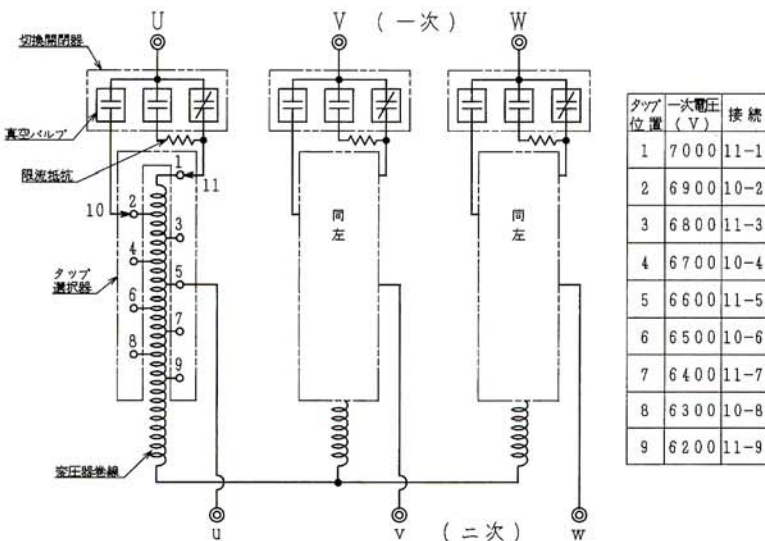
従来のSVRは、タップ切換時に発生するアークを絶縁油中で消弧させていた。このため、絶縁油が汚損され、定期的な絶縁油交換という保守作業が必要となっていた。

当社は、SVRの保守性向上を図るために、切換開閉器に真空バルブを採用することによって、絶縁油の汚損をなくしたVI形SVRを開発したので、ここに紹介する。

## ■ 特長

- ①タップ切換時のアークは真空バルブ内で消弧するため、絶縁油は汚損しない。
- ②絶縁油が汚損しないため、絶縁油の交換作業が不要となり、保守作業の省力化が図れる。
- ③真空バルブの接点寿命は切換回数20万回以上のため、この間の負荷時タップ切換器の保守は不要である。

## ■ 回路構成



## ■ 主な仕様

線路容量	3000 kVA	
相数	3相	
定格周波数	50 Hz 又は 60 Hz	
定格一次電圧	6600 V	
一次タップ電圧	7000, 6900, 6800, 6700, 6600, 6500, 6400, 6300, 6200 V	
定格二次電圧	6600 V	
結線	単巻星形結線	
タップ切換器	真空バルブ式	
総質量	2060kg	
油量	570 L	
寸法	幅	1240mm
	奥行	1390mm
	高さ	1575mm



■ VI形SVRの外観